

西予市国民健康保険

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）

第3期特定健診等実施計画

概要版

1. 計画の趣旨

西予市国民健康保険では、国指針に基づき、平成27年3月に「第1期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を定め、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進により、医療費の適正化及び保険者の財政基盤強化が図られることを目的とした保健事業を行うとともに、特定健康診査・特定保健指導に関しては、「第2期特定健康診査等実施計画（平成25～29年度）」を別に策定し、実施してきた。

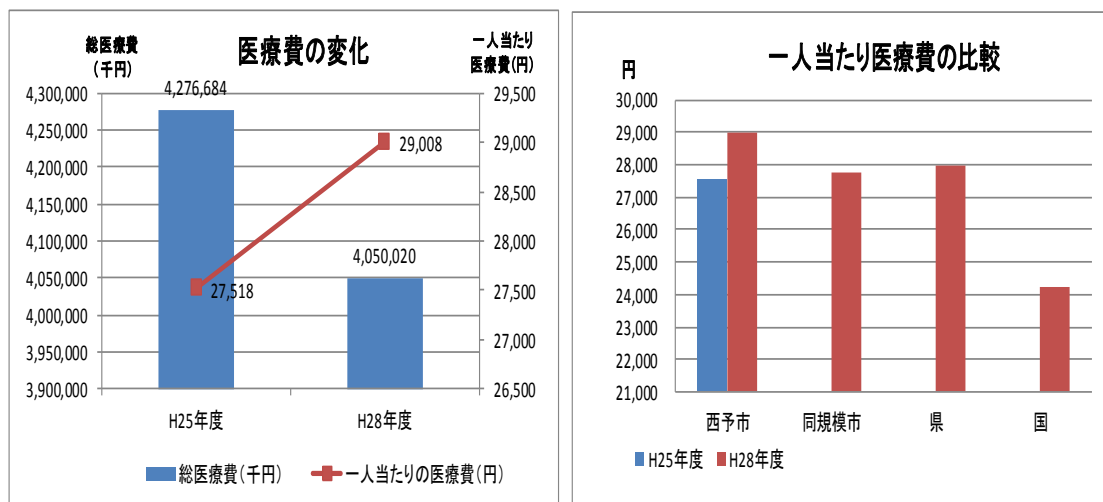
今回、第1期保健事業実施計画の実施期限を迎え計画の見直しを行うにあたり、特定健康診査等実施計画と整合性のとれたものとするため、「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」と「第3期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定し、保健事業の有効性・実効性を高め、健康寿命の延伸・医療費の適正化を図っていく。

計画の期間は平成30年度から平成35年度の6年間とする。

2. 健康課題の明確化

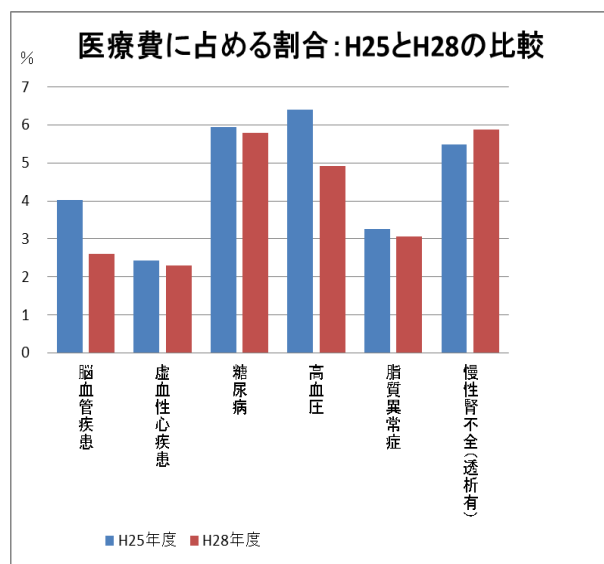
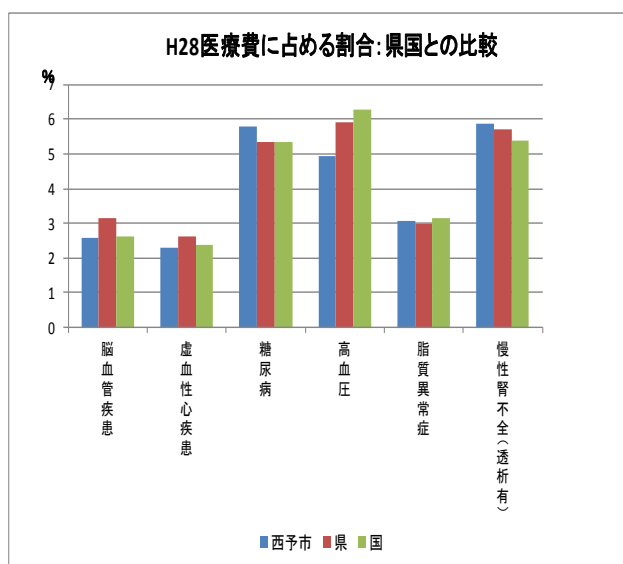
(1) 医療費

総医療費は減少しているが、これは被保険者数の減少によるものと思われる。1人当たりの医療費は増加しており同規模・国と比較しても高い状況であるが、伸び率は同規模に比べると抑制できている。（伸び率：西予市5.41%、同規模7.8%）



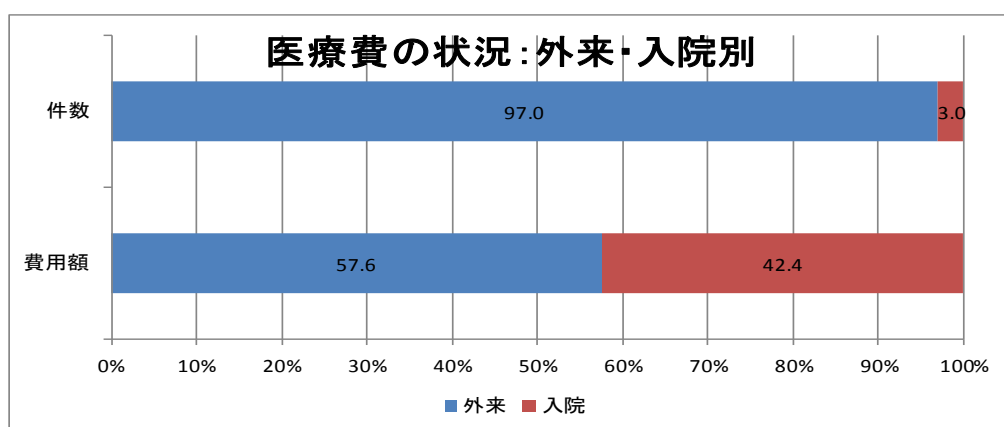
※一人当たりの医療費は年額ではなく月の平均値

疾患別の医療費では、脳血管疾患・虚血性心疾患の割合は減少しているが、慢性腎不全（透析有）の占める割合は増加傾向にあり、基礎疾患である糖尿病と併せて費用の割合は国・県よりも高くなっている。要因としては、糖尿病と診断されている人の中で、糖尿病腎症を合併している人の割合が高くなっていることから、糖尿病が重症化した結果と考えられる。つまり、基礎疾患の早期発見への継続した取り組みが重要である。



治療形態では、入院件数は 3.0%ながらも、費用額全体の 42.4%を占めている。これは、脳血管疾患・虚血性心疾患の場合、長期の入院となり高額な費用がかかることが多いことが原因と考えられる。

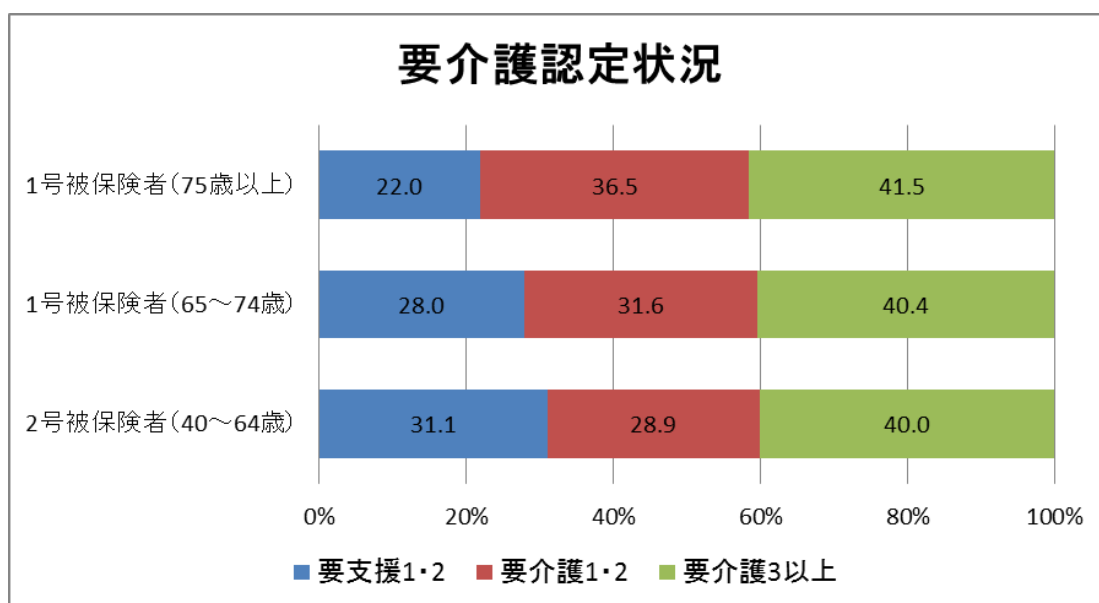
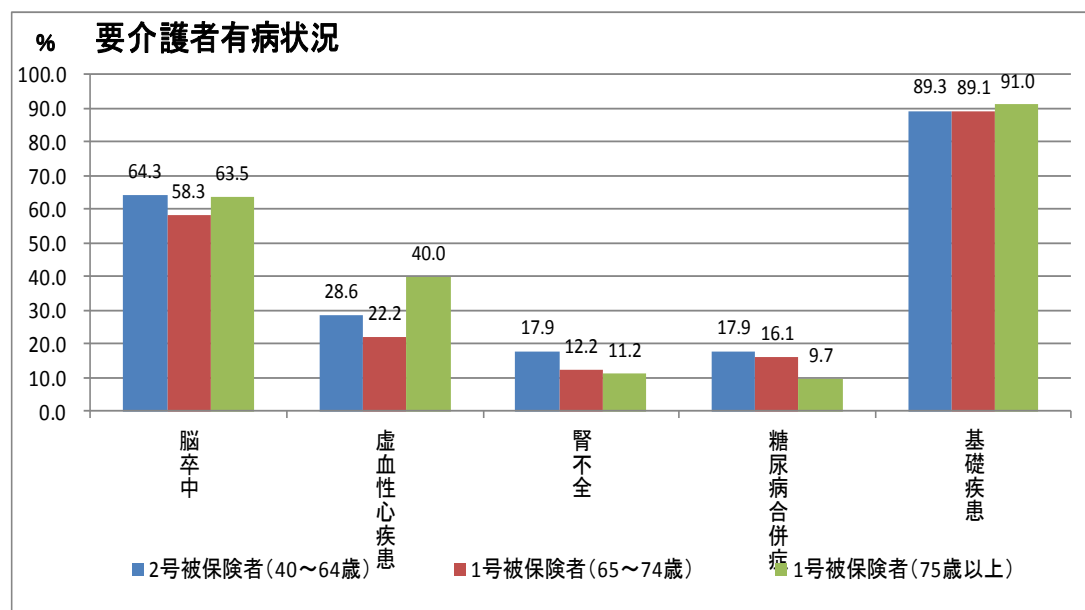
つまり、入院する段階になる前に介入し、入院数を減らしていくことが重症化予防や医療費適正化につながることになる。



（２）介護保険受給者の状況

２号認定者の介護度は重症の要介護３～５の割合が４割を占めており、脳血管疾患・腎疾患の有病率が高い。

また、年代が上がるにつれ、基礎疾患（高血圧・糖尿病・脂質異常症）の有病率が高くなるため、要介護疾患発症予防及びそのための基礎疾患発症予防が必要となってくる。



(3) 特定健康診査等の状況

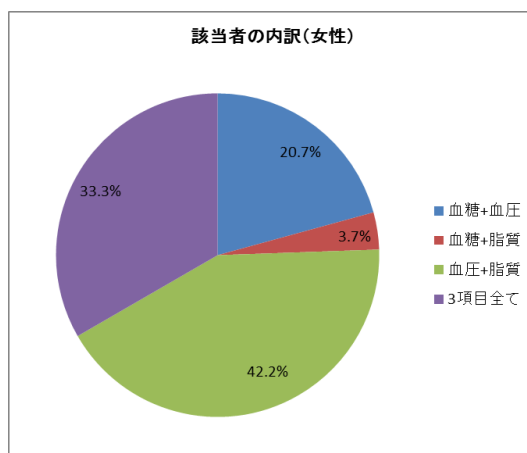
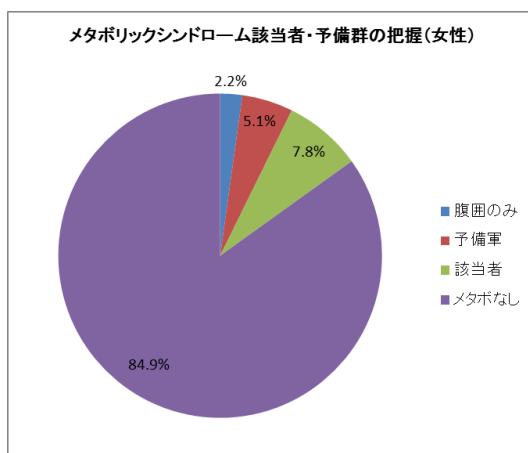
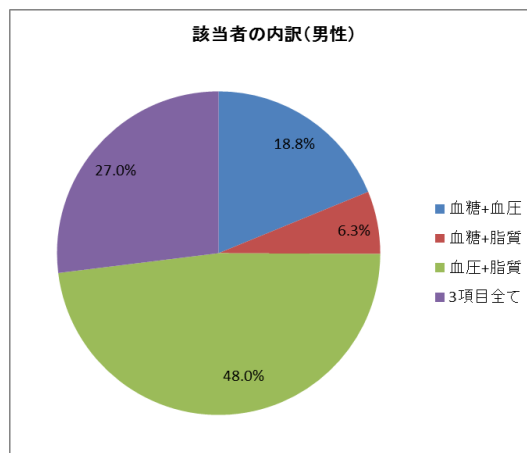
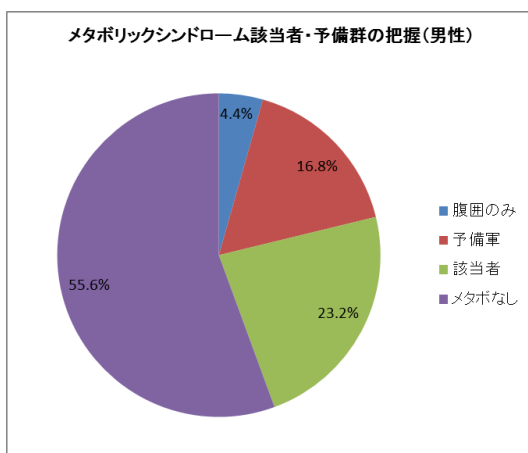
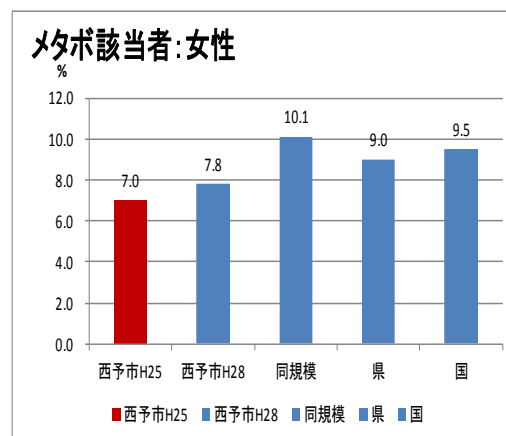
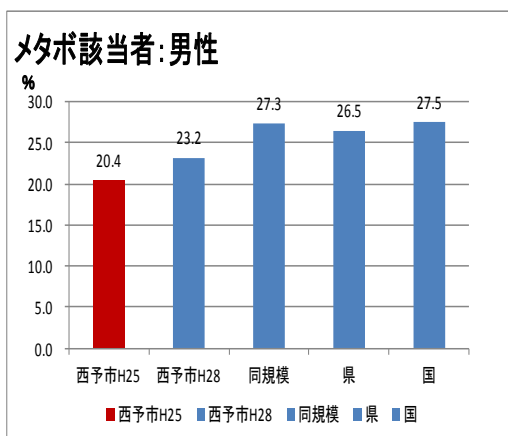
平成28年度の受診結果では、メタボ該当者の割合が、男女ともに国・県・同規模と比較すると低いものの、平成25年度より増加している。

メタボ該当者の内訳では、2項目（血圧+脂質）の割合が高く、次いで3項目（血圧+血糖+脂質）該当者の割合も高い。

内臓脂肪の蓄積が原因となる異常値の重なりが、重症化（脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症・慢性腎不全等）につながっていると考えられる。

また、メタボリックシンドローム以外の非肥満高血糖者の割合が高いのも特徴である。
 健診受診者の基礎疾患（高血圧・糖尿病・脂質異常症）のコントロール状況をみると、
 治療中ではあるが、受診勧奨レベル以上の者が高血圧で4割、糖尿病で6割、脂質異常
 症で1割となっている。

糖尿病は受診につながっていても、医師の指示通りの服薬だけでなく、食事・運動療
 法等を併せて実施していくことが必要と考える。



3. 目標の設定

①中長期的な目標

平成 35 年度に向けた目標

- ・脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全・糖尿病の総医療費に占める医療費の割合を増加させない。国の平均値を目標に減少させる。
- ・新規人工透析者を増加させないために、糖尿病腎症の割合を増加させない。
- ・外来医療費の割合を伸ばし、入院医療費を増加させない。

②短期的な目標

メタボリックシンドローム、高血圧・糖尿病・脂質異常症等を増加させない。

【具体策】

- ・受診が必要な者への適切な受診への働きかけや保健指導の実施
- ・健診・治療中断者への働きかけ（受診勧奨や保健指導等）
- ・治療中でコントロール不良者へかかりつけ医と連携した保健指導の実施

4. 第3期特定健康診査等実施計画

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健診実施率	40%	45%	50%	55%	60%	60%
特定保健指導実施率	70%	75%	80%	85%	90%	90%

5. 保健事業の内容

(1) 重症化予防の取り組み

疾病名	対象者	保健指導実施	評価
脳血管疾患	・特定保健指導対象者 ・特定健診結果においてⅡ度以上 ・その他心電図等有所見者	・相談・訪問等で受診勧奨 ・受診状況を確認後中断しないよう確認し、主治医と連携し、必要な保健指導を実施する	・短期的評価 基礎疾患（高血圧・糖尿病・脂質異常症等）対象者の年次推移 ・中長期的評価 脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症・慢性腎不全等の総医療費に占める割合
虚血性心疾患	・特定保健指導対象者 ・心電図有所見者		上記に同じ

	・ 特定健診結果において 血圧Ⅱ度以上 ・ LDL コレステロール 180 以上等		
糖尿病性腎症	・ 特定保健指対象者 ・ 愛媛県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準ずる	・ 相談・訪問にて受診勧奨 ・ プログラムに準じた取り組み	上記に同じ
その他	・ 特定保健指導対象者 ・ 腎機能低下 eGFR45 未満の者	・ 相談・訪問にて受診勧奨 ・ 受診確認後中断しないよう確認し、主治医と連携し、必要な保健指導を実施する	・ 短期的評価 高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム等重症化予防対象者の減少

(2) その他の保健指導事業

①重複・頻回受診者保健指導事業

②後発医薬品（ジェネリック医薬品）普及促進事業

6. 地域包括ケアに関する取り組み

西予市では高齢化が進む中、今後医療・介護の需要が大きくなることが予測される。重症化予防の取り組みにより、要介護状態となる人を減らしながら、健康寿命を延ばす対策を長寿介護課・包括支援センターと具体的に検討し、役割分担しながら取り組んでいく。

7. データヘルス計画の評価・見直し

中間評価：進捗状況確認のため3年後の32年度に行う。

最終評価：次期データヘルス計画の策定を円滑に行うための準備も考慮に入れて評価を行う。

8. データヘルス計画の公表・周知

策定後は、被保険者や保健医療関係者が知り得ることができるよう西予市ホームページを中心に公表を行う。